

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策 No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・ 方向性	※左記の判断理由
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7	スポーツ普及事業の 開催	平塚市スポーツ協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツ フェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活 動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる 健康・体力づくりを推進するための機会を 提供することで、健康で明るいまちづくりに 寄与するため、総合公園全施設を利用 してスポーツ体験教室等を実施します。	35スポーツ教室を実施 参加者10,987人 内訳 教室等参加者 8,346人、スタッフ 512人 野外ステージ出演者、観覧者 2,129人	体育館内でのスポーツ教室はいず れも多くの来場者があり、大盛況で あった。スポーツ・レクリエーション活 動への参加意欲を喚起し、健康・体 力づくりを推進するための機会を提 供することができた。	継続	市民がスポーツ・レクリエーション活動への 参加意欲を喚起し、健康・体力づくりを推進 するための機会を提供するため、今後も継 続する。
2-1	ビーチスポーツ普及 事業の開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツ体 験会の開催(ビーチバ レー、ビーチラグビー、 ビーチテニス、ライフ セービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普 及、新たな海岸利用を提案するため、各 種ビーチスポーツ体験会を実施します。	ビーチサッカースクールを月2回程度、ラウンドボール・フ レスコボール体験会を月1回程度しました。また、ストリ ートバスケットで人気のあるSOMECITYを誘致しました。	これまでコロナで縮小していたビー チサッカーやラウンドボール・フレ スコボール体験会を通常通り開催で き、また、新たな試みとしてSOMEC ITYを誘致し、全体的に好評でした。	継続	相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの 拠点として、指定管理者と連携し、引き続き 多くの利用者の方にビーチスポーツに親し んでいただくための機会の提供に努めま す。
2-2	ビーチスポーツ普及 事業の開催	スポーツ課	各種ビーチスポーツ体 験会の開催(ビーチバ レー、ビーチラグビー、 ビーチテニス、ビーチ サッカー、ライフセー ビング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普 及、新たな海岸利用を提案するため、各 種ビーチスポーツ体験会を開催します。	ビーチスポーツ関連名義後援 2件	名義後援等による支援を行い、間接 的に、大会の開催や大会を観戦でき る機会を提供することに寄与した。	継続	補助金交付による支援は28年度で終了と なっている。現状、名義後援のみとなってい ることから当該事業を廃止とする。名義後 援による支援は継続する。
3	運動体験教室	健康課	肥満予防・改善教室 ①すっきりボディを手 に入れたあなたへ ②女性の肥満予防・改 善教室 ③未病改善教室	生活習慣病やその予備群であるメタボリッ クシンドロームを予防するため、適切な運 動や食生活について講義及び実技等を実 施する。	①すっきりボディを手に入れたあなたへ 全12回で参加 者延161人 ②女性の肥満予防・改善教室 全7回で参加者延84人 ③未病改善教室 全9回で参加者延91人	①～③の事業を通し、生活習慣病 予防に必要な運動や食生活の知識 を習得し、生活習慣の改善や体重 減少につながった。一方で3事業で 対象や条件を変えて実施している が、参加者数が定員に満たない状 況が続いており、内容等の見直しを していく必要がある。	継続	肥満予防改善教室3事業を1事業へ統合 し、肥満者の割合が高い就労世代に限定し た事業へと変更する。また、新たに若い世 代の運動習慣獲得に向けた新規事業へ変 更する。
4	健康づくり推進事業	健康課	健康づくり推進事業	市民の健康づくり運動を推進するための 事業や活動を実施する。	健康ウォーキング10開催、延参加者数372人 体験ウォーキング1回、参加者数15名 くすのき体操講習会10回開催、延参加者数185人 くすのき体操教室等23回開催、延参加者数436人 運動・休養の教室4回開催、延参加者数125人	健康推進員活動は、運動の習慣化 を目指し継続参加が可能のため多く の市民が参加し、運動習慣を定着さ せる機会となっている。	継続	前年度に引き続き、健康推進員の育成及 び活動支援を行い、地域での健康づくりの 輪を広げていく。また、より多くの市民が参 加できるよう、一部、祝日にも開催する。
5	健康推進員養成講 座	健康課	健康推進員養成講座	市民が健康づくりの重要性を理解し、自主 的に活動するために必要な知識・技術を 学習する。	養成講座全8回実施、延参加人数延65人	「自分たちの健康は自分でつくり、守 る」という地域での健康づくり活動の 動機づけを広げることができた。	継続	前年度に引き続き、健康推進員を養成し、 地域での健康づくりの輪を広げていく。
6	健康推進員育成講 座	健康課	健康推進員スキルア ップ！講座	健康推進員が地域において健康づくり活 動のリーダー的な役割を担い、地域にお いて活動を推進することを目的とする。	スキルアップ講座全4回実施、延参加人数77人	日頃の健康づくり活動を安全かつ効 果的に行うために必要な知識・技術 を参加者が習得できた。	継続	前年度に引き続き、健康推進員の活動に おいて、地域で安全にウォーキングや体 操、体力測定を実施していくための知識・技 術の向上を行っている。
7	日常的運動習慣へ の啓発事業の開催	スポーツ課	ウォーキングイベント	多くの市民が参加しやすいスポーツイベ ントを提供するために、「楽しむこと」を重要 視して、結果的に「スポーツをすること」に 繋がるウォーキングイベントを検討しま す。	検討を行っていない。	当課の担う事業として、実施するか は検討を行っていない。	継続	高齢化が進み中で、いかに健康寿命を延 ばすかが課題である。本市としてウォー キングに限らず、スポーツをする機会の提供 を積極的に検討する必要がある。
8	地域健康づくり活動 支援プログラム	健康課	地域健康づくり活動推進 プログラム	地域の健康づくりを目的として活動してい るグループに対し、教育を実施し、健康づ くりに関する知識や技術の向上を図ること を目的とする。	高齢者の地域支援を地域包括ケア推進課でも実施し重複 している。そのため、事業自体を見直し、重複している部 分については令和元年度で廃止し、重複していない部分 は地域健康づくり支援事業に統合した。		統合	高齢者の地域支援を地域包括ケア推進課 でも実施し重複している。そのため、事業自 体を見直し、重複している部分については 令和元年度で廃止し、重複していない部分 は地域健康づくり支援事業に統合した。
9	地域健康づくり支援 事業	健康課	地域健康づくり支援事業	市民団体及びグループ等からの依頼に応 じて、健康教育・健康相談等を実施し、健 康づくりの知識・技術の向上を図る。	5回実施、延参加人数62人	市民団体及びグループ等からの依 頼に応じたテーマで、健康教育・健 康相談等を実施し、健康づくりの知 識・技術の向上の機会となってい る。	継続	前年度に引き続き、市民団体及びグループ 等からの依頼に応じて、健康教育・健康相 談等を実施し、健康づくりの知識・技術の向 上を行っていく。
10	公民館における自主 事業等	中央公民館	公民館における自主事 業等	スポーツに親しむ機会を市民に提供する ため、公民館主催の児童・生徒地域参加 事業、家庭教育学級、シニア学級、自主 事業等を実施します。	合計 74事業 延べ2,570人 内訳 児童・生徒地域参加事業 10事業 延べ 436人 家庭教育学級 9事業 延べ 243人 シニア学級 28事業 延べ 552人 自主事業 24事業 延べ 1,292人 ブロック事業 3事業 延べ 47人	前年度と同程度の規模で実施した。 新規事業として、「東海大学式バス ケットボール教室」などの事業を展 開した。	継続	日時や対象を検討して継続する。

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
11	市民総合体育大会・各種スポーツ大会	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	第71回市民総合体育大会(2,985名)・トリムバレーボール大会(15チーム)・市内駅伝競走大会(20チーム)	感染対策を講じた上で開催した。	継続	スポーツをする機会の提供として、継続していく。併せて、現在の状況にあった大会の在り方について検討する。
12	市民体育レクリエーション地区大会	中央公民館	市民体育レクリエーション地区大会	地域住民相互の親善と交流を深め、明るい地域づくりの推進を図るとともに、スポーツ、レクリエーション活動の向上と健康の増進を図るため、各地区で市民体育レクリエーション地区大会を実施します。	合計24会場 延べ13,876人(中止 2会場)	雨天のため、2会場で中止となった。実施した24会場では、幼児から高齢者まで幅広い世代が参加可能な競技種目を設定した。	継続	競技種目を検討して継続する。
13	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室(子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	市民が生涯にわたりスポーツに親しむために、スポーツ教室を開催し、健康増進への機会の提供及びスポーツに対する参加意識を高める。	35スポーツ教室を実施 参加者6,671人(子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い各スポーツ教室の参加定員を緩和したこともあり、前年度よりも参加者数が増加した。健康増進への機会を提供することができた。	継続	市民がスポーツに親しみ、健康増進への機会を提供するために、今後も継続する。
14	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	手話ダンスによる健康づくり事業	手話を取り入れたエンターテイメントグループの「HANDSIGN」と連携し、子どもから高齢者、障がい者が健康で、いつまでもいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指し、運動・スポーツ活動のきっかけづくりとするため、手話ダンスを活用した事業を実施します。	・手話ダンスグループ「HAND SIGN」による公演 年1回 ・日時：令和6年2月16日 ・場所：勝原小学校体育館 ・対象：全校生徒(440人)	HANDSIGNによる公演を小学校等で実施して、ダンスや手話に興味を持ていただく機会となった。	継続	小学校等での公演を通して、手話やダンスに興味を持ってもらえる機会を提供し、手話ダンスの普及啓発を図る。
15	スポーツボランティアの活用	スポーツ課	スポーツボランティア活動事業	スポーツボランティア活動の機会を提供するため、市が開催するスポーツ大会などにスポーツボランティアを活用します。	市ホームページへの掲載を行った。 また、市主催のスポーツイベントにおいて東海大学の学生を中心にボランティアでイベントの補助を実施した。	東海大学の学生を中心に市主催のスポーツイベントでボランティア活動ができた。	継続	引き続き東海大学の学生を中心にボランティアを依頼する。
16	ミニミニ運動会	保育課	ミニミニ運動会	子育て中の親子が楽しめるふれあいの場を提供するため実施している。親子と一緒にできる運動や自然物を使ったの制作を楽しんでいる。	計画した全4回人数制限を緩和して実施した。各地域で20～30組の募集をし、12～28組の申し込みがあり合計74組の参加となった。天候や体調等で外に出られない親子に好評な「おうちでミニミニ運動会」の動画配信は継続した。	コロナ後とPR不足もあり参加者は以前のように多数ではなかったが、親子で楽しめた、もっと実施を期待するという声が聞かれ好評を得た。「おうちでミニミニ運動会」の動画配信は継続したが、猛暑の中外に出られない親子から好評であった。	継続	昨年度から比較すると参加者は倍増していることや親子で参加できるイベントを希望する声が多いこと、以前は1回で30～70組を超える参加者があったことなどからニーズは高いと考えられる。合わせて、動画配信も好評が続いている。今後は、PRを以前のようにしていきより楽しめる内容を検討していく予定である。
17	親子で遊ぼうフェスティバル	保育課	親子であそぼうフェスティバル	未就学児の子どもとその保護者を対象として、親子の交流・ふれあいを深めるため、親子と一緒に体操やふれあい遊びを行うイベントを実施。	「親子であそぼうフェスティバル」を10月14日に開催。2部制、各部80組の定員を設け開催した。申込は定員まで達したが、キャンセルがあり、結果的に154組(大人247人、子ども212人)が参加した。	2部制で定員を設け開催したことで、子どもの集中力が切れることなく、広いスペースで遊ぶことができ好評で、来年も参加したいという声が多く聞かれた。神奈川大学と東海大学の学生にも参加いただき、子どもと接することができ良い経験になったと感想をいただいた。	継続	コロナ前の親子であそぼうフェスティバルでは、300～400名が参加した実績があり、ニーズの高いイベントだと考えられる。今後は、参加者アンケートの結果に基づいたプログラムの拡張や、定員増加を検討し、規模をコロナ前に近づけていく予定である。
18	計画訪問	教育指導課	幼稚園・こども園・小中学校訪問	授業研究を通して、教育指導のあり方や実施上の諸課題などについて研究協議し、指導力の向上に努める。	中学校で行われた陸上競技(走り高跳び)の授業に、市内15校の中学校より15名の保健体育科教員が参加した。また、市内の小中学校1校でボール運動(ゴール型)の授業研究を行った。	研究協議を深めることができ、指導力の向上を図ることができた。	継続	教員の指導力向上のために、今後も継続していく。
19	中学校部活動の在り方研究協議会	教育指導課	中学校部活動の在り方に関する事業	生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点と学校の働き方改革の観点から、持続可能な部活動の在り方について研究の実践を行い、部活動の諸課題解決に努める。	令和5年度は今後の部活動のあり方として、「部活動の朝練習」、「部活動の地域移行」について検討した。	今後の部活動のあり方や部活動地域移行について、多岐にわたる課題を把握し、今後の検討資料とすることができた。	継続	生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点と学校の働き方改革の観点から、持続可能な部活動の在り方や部活動地域移行に係る諸課題解決のために今後も継続していく。
20	中学校部活動指導者派遣事業	教育指導課	中学校部活動地域指導者派遣事業	中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じて専門的資質を有する地域指導者を、運動部及び文化部顧問の指導協力者として派遣する。あわせて地域指導者に対して講習会を実施する。	地域指導者派遣期間は令和5年4月1日から令和6年2月28日延べ107人の地域指導者が総計4,513単位時間活動した。	学校の顧問不足や放課後の会議等で指導時間の確保ができない顧問、専門的な指導が難しい顧問がいる中、生徒の意識の向上、より高い技術指導の提供等の面で、大変有効であった。	継続	生徒の意欲向上さらには高い技術指導の提供のために、今後も継続していく。

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
21	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	教育指導課	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・関東中学校体育大会及びこれに準ずる大会・コンクール等に出場する中学生を激励金を交付し活動を支援する。	令和5年度は運動部では全国大会へ団体1種目(4人)、個人2人、関東大会へ団体5種目(37人)、個人6人が出場した。文化の部では、全国大会へ1団体(3人)、関東大会へ3団体(6人)が出場し激励金を支給した。	激励金は、学校長あてに交付されるが、関東・全国大会等の参加時支度金として活用された。	事業縮小	令和5年度に激励式を廃止し、参加支度金として活用したが、実費負担分の派遣交付金のみ支給することとした。
22	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	平塚市スポーツ協会	イーハトーブ花巻キッズアスリート交流事業	運動能力の優れた児童及びその保護者を対象に、専門知識や多様なスポーツ・トレーニング体験の機会を提供し、競技技術の向上を資するため研修会を開催する。	東京オリンピック・パラリンピック開催により、東海大学から選手派遣及び施設の提供ができない旨の申し出があり、中止となった。	令和元年度の時点で令和2年度の交流事業を実施しないことは決定していた。	終了	花巻市から当事業の予算が確保できない旨の申し出があり、令和3年度以降も交流事業を実施しないことになった。
23	少年少女スポーツ大会	スポーツ課	少年少女スポーツ大会	スポーツを通じて青少年の健全育成を図り、授業以外での運動習慣をつける機会を提供するため、野球、水泳、剣道、マラソン大会を実施します。	5年度実績 (1) 少年野球大会 7月21日～7月30日 508名 (2) 少年少女水泳大会 8月6日 125名 (3) 少年少女剣道大会 10月8日 170名 (4) 少年少女マラソン大会 3月2日 183名	各種スポーツ大会をとおして、心身の健全育成に寄与するとともに子どもたちにスポーツをする機会の提供ができた。	継続	スポーツをするきっかけづくりや、日頃の練習の成果を発揮する大会として目標になっていることから、参加しやすい工夫をするなどして、今後も継続していく。
24	小学校プール開放事業	スポーツ課	小学校プール開放事業	児童の心身の健全な育成と体力の向上を図るため、夏季休業中の小学校のプールを開放する。	R5年度利用者数：10、020人	夏季休業中の市内27校の小学校プールを開放した	継続	今後も継続していく方向だが、プール開放のあり方も同時に検討する。
25	市民総合体育大会・各種スポーツ大会(再掲)	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図るとともに、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	第71回市民総合体育大会(2,985名)・トリムバレーボール大会(15チーム)・市内駅伝競走大会(20チーム)	感染対策を講じた上で開催した。	継続	スポーツをする機会の提供として、継続していく。併せて、現在の状況にあった大会の在り方について検討する。
26	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室(子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	市民が生涯にわたりスポーツに親しむために、スポーツ教室を開催し、健康増進への機会の提供及びスポーツに対する参加意識を高める。	35スポーツ教室を実施 参加者6,671人(子どもを対象としたスポーツ教室を除く。)	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い各スポーツ教室の参加定員を緩和したこともあり、前年度よりも参加者数が増加した。健康増進への機会を提供することができた。	継続	市民がスポーツに親しみ、健康増進への機会を提供するために、今後も継続する。
27	フレイル対策推進事業	地域包括ケア推進課	フレイルチェック測定会	高齢者の身体状態を把握し、介護予防のための運動へのきっかけづくりとなる「フレイルチェック」を実施します。	フレイルチェック測定会 46回実施 参加者延べ621人	「気づく」ためのフレイルチェック測定会は予定回数を大きく上回る46回実施できた。高齢者のフレイル予防を図ることができた。	継続	高齢者のフレイル・オーラルフレイルを予防するため、自宅から歩いて行ける距離でフレイルに「気づく」機会を継続する必要がある。また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に基づき、後期高齢者健診とフレイルチェックを一体的に実施し、フレイルへの気づきと行動変容を促す仕組みの構築や、フレイルハイリスク者への支援体制を構築する必要がある。
28	地域介護予防活動支援事業	地域包括ケア推進課	通いの場サロンの支援	地域で住民主体に運動等の介護予防活動を開催する高齢者の通いの場(サロン)や新規に開催を希望する通いの場(サロン)への支援を行います。	団体 148団体 開催回数 16,487回(延べ) 参加人数 169,161人(延べ)	団体数、開催回数、参加人数ともに増加した。新型コロナウイルス感染症の影響を理由に活動を休止している団体はほとんどなかった。	継続	新規に通いの場を希望する団体には通いの場事業の趣旨説明を、窓口及び電話対応で行う。既存の団体には必要に応じて補助対象の見直し等を行うほか、スマートフォン講座を通して、通いの場の高齢者同士のつながりを支えたい。
29	ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	スポーツを楽しむことを通じて高齢者の生きがいの高揚を図るとともに社会との連帯感を養成し、もって高齢者福祉の向上を図るため、ゲートボール競争等気軽に楽しめる種目のあるスポーツ大会を実施します。	令和5年10月27日に平塚市老人クラブ連合会第51回スポーツ大会を開催し、各地区から約730名が参加しました。	高齢者が安全に楽しめる競技や健康体操を種目として取り入れることにより、多くの参加者を得ることができ、高齢者の健康づくりにつなげることができた。	継続	多様な種目の開催を通して運動による健康づくりへの意識を高めることができている。
30	ゆめクラブ湘南平塚グラウンドゴルフ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	競技を通し友好と連帯を深めつつ、お互いに生きがいと健康の保持増進に役立て、高齢者の福祉の発展に寄与するため、グラウンドゴルフ大会を実施します。なお、湘南ブロック老連予選会を兼ねます。	令和5年5月29日に平塚市老人クラブ連合会第12回グラウンドゴルフ大会を開催し、市内17地区28チーム、210名が参加しました。	高齢者同士の交流や運動する機会を提供することができた。	継続	運動による健康づくりとしてスポーツ大会、令和4年度からはパークゴルフ大会を開催していることを踏まえ、今後もクラブ活動を安定して継続していけるよう事業の見直しを検討していく。

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
31	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、各種障がい者スポーツ大会への参加を支援します。	令和5年度実績 (1)ボウリング競技会 令和5年4月9日 1名 (2)アーチェリー競技会 令和5年4月9日 1名 (3)フライングディスク競技会 令和5年4月16日 15名 (4)陸上競技大会(知的) 令和5年4月23日 6名 (5)陸上競技大会(身体) 令和5年5月14日 9名 (6)水泳競技会 令和5年7月9日 5名 (7)卓球競技会 令和6年1月19日 9名 (8)ポッチャ競技会 令和6年2月23日 2名	コロナ禍前より、参加人数は微減したが各種スポーツ大会への参加を支援できた。	継続	スポーツを通じて、障がい者の余暇活動の充実を図ることで、より多くの社会参加の機会提供が進み、本人の生活力向上や健康維持に繋がるため継続して行う。
32	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	スポーツ課	ひらつかパラスポーツフェスタ開催事業	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとすために開催する。	イベント参加者616名	誰でも参加できるイベントができた。	継続	パラスポーツ(障がい者スポーツ)を体験する機会を提供し、パラスポーツに対する理解を深め、普及・振興を図るとともに、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとすために有効な事業のため、引き続き継続していく。
33-1 33-2	地区体育振興事業	平塚市体育振興連絡協議会	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即応したスポーツ行事を開催します。	雨天中止となる事業もありましたが、地区体育振興会において111事業(参加者6,100名以上)を実施しました。	市民がスポーツに触れ合う機会や地域の交流に寄与することができた。	継続	地区体育振興会は各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るためには、当団体へ委託し事業を継続することが適当であるため。
34	スポーツ普及員の認定	スポーツ課	スポーツ普及員の認定について	地域でスポーツの普及を担う人材を確保するため、スポーツ普及員の創設に向けた検討を行います。	スポーツ普及員制度の検討は行っていない。	本市の特性として、地域におけるスポーツの普及振興は地区体育振興会やスポーツ推進委員に担っていたであり、スポーツ普及員認定制度の趣旨から、当該制度の導入による効果は低いものと判断する。	終了	同制度と類似する制度として、「平塚市スポーツ指導者制度」があるが、機能していない状況の中、新たに制度を作る必要制は低い。そのため、同制度の検討は終了したい。
35	市民活動団体などとの協働	スポーツ課	市民活動団体などとの協働事業	行政が抱える課題や地域課題を解決するため、市民活動団体と行政が協働して事業を実施します。	平成26年度からスポーツに関する2事業を実施 ①市内スポーツ情報ポータルサイト構築運営事業 ②小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業	市民活動団体と行政がお互いのノウハウを活かしながらそれぞれの事業に着手し、事業展開が図られている。	継続	①市民団体(藤沢シニアネット)、平塚市まちづくり財団と協働して運用事業を継続して実施していく ②小中学校運動場、体育館個人開放利用
36-1 36-2	スポーツ推進委員研修会	平塚市スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、スポーツ推進委員協議会が委員に向けた研修会を開催。	年1回の研修大会、年4回の研修会を開催しました。	地域等で指導するニュースポーツ競技を中心に研修会で相互に学ぶことができた。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する助言・指導を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。
37-1 37-2	県スポーツ推進委員研修会などへの派遣	平塚市スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、県スポーツ推進委員連合会や西湘ブロックなどの研修会に委員を派遣します。	全国・県・関東大会・西湘ブロック研修会に参加しました。	各研修会や研究会に委員が参加し、実技指導等を受けたことにより、委員の技能や知識向上を図ることが出来た。 また、その成果を本市のスポーツ推進委員や各地区へ広げていった。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する指導・助言を行う上での有効な事業のため、引き続き継続していく。
38	総合型地域スポーツクラブの相談窓口の設置	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	総合型地域スポーツクラブの新設や運営等の相談・支援を行うため、相談窓口を設置します。	市内の創設済みクラブ(3クラブ) 平成29年度より1クラブが準備中クラブから創設済みクラブとなった。	活動の実績等の把握、新規事業への視察等を実施し、情報提供を実施した。	継続	県の所管課や各種関係団体のパイプ役として、身近な相談窓口として必要なため、継続して実施する。
39-1 39-2	平塚市民・大学スポーツ交流事業	東海大学	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	陸上競技教室:市内在住・在学の中学生228名が参加 バスケットボール教室:市内中学校バスケットボール部所属の中学生73名が参加 バレーボール教室:平塚市内在住・在学の中学生60名が参加 「サッカー教室」:小学生65名が参加	全国でもトップクラスの成績を誇る東海大学陸上競技部・バスケットボール部の直接指導を受けることができ、また指導者の知識を得る場ともなっている。また、地域と大学の連携・発展へも寄与した。	継続	参加者アンケートにおいて「満足」「少々満足」の割合が多い。大学生の現役選手の直接指導は参加者にとっても良い機会であり、今後も継続する。
40-1	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	東海大学	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	東海大学陸上競技部と協力し、少年少女マラソン大会を開催した。参加者183名	市民と大学との交流を十分に図ることができた。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
40-2	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	神奈川大学	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	「サッカー教室」:小学生65名が参加	市民と大学との交流を十分に図ることができた。	終了	神奈川大学平塚キャンパスは令和5年4月に横浜キャンパス移転するため。
40-3	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツ課	平塚市民・大学スポーツ交流事業	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	東海大学陸上競技部と協力し、少年少女マラソン大会を開催した。参加者183名	市民と大学との交流を十分に図ることができた。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
41-1 41-2	東海大学との協働による小中学校体育施設個人開放事業	スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 みずほ小学校 年15回	学校行事等のイベント開催に伴い、開放が中止となる期間もあったが、市民がスポーツを楽しむ機会を提供できた。	継続	大学交流事業としてバラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。
42-1 42-2	競技力強化事業	平塚市スポーツ協会	競技力強化委託事業	国体選手の養成、本市体育協会関係選手の強化育成を図るため、平塚市スポーツ協会に競技力強化事業として委託します。	平塚市スポーツ協会26加盟団体のうち、1団体が事業を予定どおり実施することができず、委託料の返金があった。	概ね予定どおり実施した。	継続	全国大会等へ、多くの出場選手を輩出していることから、今後も継続する。
43-1 43-2	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会などへの選手派遣	平塚市スポーツ協会	選手派遣事業	駅伝大会を通じて市町村相互の交流や、競技力の向上を図るとともに、健康、明朗な心身の育成を図るため、かながわ駅伝に選手を派遣します。	成績は全体で8位	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村相互や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることが出来た。	継続	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村相互や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることが出来るため、継続して実施する。
44-1 44-2	スポーツ優秀選手表彰	平塚市スポーツ協会	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツへの興味関心を高めるとともにスポーツの競技会において優秀な成績を収めた選手等の栄誉をたたえるため、スポーツ優秀選手として表彰します。 ※平塚市スポーツ優秀選手表彰規定	令和5年度平塚市スポーツ優秀選手 個人 13 名 団体 2 団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	本市スポーツの振興に寄与すると判断し、継続事業とする。
44-3	スポーツ優秀選手表彰	平塚市まちづくり財団	スポーツ優秀選手表彰	スポーツの大会等に出場し、優秀な成績を収めた選手等を讃えるため、スポーツ優秀選手として表彰する。	スポーツ優秀選手の表彰 個人:33人 団体:1団体	スポーツをする小・中・高校生にとって目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	スポーツ活動の持続に効果があるため、今後も継続する。
45	体育功労者表彰	スポーツ課	体育功労者表彰	地域または職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、体育の振興に顕著な成果をあげた体育関係者及び社会体育団体を讃えるため、体育功労者として表彰します。	令和5年度神奈川県及び平塚市スポーツ功労者 神奈川県スポーツ功労者 1名 平塚市スポーツ功労者 7名	スポーツの普及発展に貢献し、本市体育・スポーツの振興に寄与した。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、また、関係者の競技力の向上やきっかけづくりとなるため、今後も継続する。
46-1 46-2	支援金の交付	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を持続できるよう、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等に支援金を交付する。 また、全国大会出場者に記念品を贈呈する。	全国大会等出場者への支援 計49件 内訳 ①国際大会:8件 ②全国大会:30件 ③関東大会:11件 全国大会出場者への記念品贈呈:9件	スポーツ優秀選手等がスポーツ活動を持続することに寄与している。	継続	スポーツ活動の持続に効果があるため、今後も継続する。
47	会場使用料の援助	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する助成・援助	市民がスポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域の連携意識を高めながらスポーツ活動を持続できるよう、市内スポーツ団体が主催する一般市民を対象としたスポーツ大会の会場使用料を援助する。	会場使用料支援 5件 (卓球協会、ママさんバレーボール協会、女性卓球連盟、陸上競技協会、水泳協会)	市内スポーツ団体が継続してスポーツ大会を開催できることに寄与している。	継続	スポーツ活動の持続に効果があるため、今後も継続する。
48-1 48-2	平塚市スポーツ協会の法人化に向けた支援	平塚市スポーツ協会	平塚市スポーツ協会の法人化に向けた支援	平塚市スポーツ協会の自主的な活動を推進するため、法人化に向けた支援を行います。	法人化に向け、団体との協議は行っていない。	法人化に向けた市への支援要請はなく、団体の現行の運営体制、過去の検討状況等を考慮すると現状において法人化に向けた具体的な検討を行う段階ではないと判断する。	継続	法人化に係る検討については、団体からの要請を踏まえて対応する。近隣市町の情報収集や法人化の手法等の研究は、引き続き進めることとする。
49-1 49-2	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室	湘南ベルマーレ	小学校体育巡回、幼稚園、保育園巡回教室補助事業	湘南ベルマーレの指導者がサッカーの楽しさを伝えるとともに、協調性などの人間力向上を図るため、小学校巡回授業や幼稚園・保育園巡回教室の実施に対し補助金を交付します。	延べ小学校37校 計2,528名 延べ幼稚園・保育園75園 計3,056名	湘南ベルマーレのコーチによる、サッカーやボールを用いた運動の指導を受けることにより、スポーツへの興味・関心を持ち、団体活動・集団活動を通じて礼儀や協調性などの人間性向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
50-1 50-2	平塚市トレーニングセンターへの指導者派遣	湘南ベルマーレ	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	補助金交付を通じて、ジュニアサッカー選手育成のため、優れた指導力を備える湘南ベルマーレの指導者を平塚市トレーニングセンターに派遣します。	小学生 延べ1044名	Jリーガーの輩出実績とともに、選手同士の交流や指導を受けた選手が各チームの模範選手となるなど、市内育成年代のサッカー競技力向上や人間性の向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
51-1 51-2	サッカースクール	湘南ベルマーレ	①未就園児親子運動教室 ②親子サッカー教室 ③レディースサッカー教室	未就園児や幼稚園児とその保護者及び女性が身体を動かすことの楽しさ、大切さを実感する。また、スポーツの振興を図るとともに施設利用を拡充するため、サッカー教室やスポーツ教室を実施します。	①前期後期各8回全16回実施延べ278組556人参加 ②年長コース前期・後期各8回全16回実施延べ190組380人参加 年少・年中コース前期・後期各8回全16回実施延べ245組490人参加 ③前期・後期全8回16回実施 214名参加	湘南ベルマーレスポーツクラブのコーチが講師となりサッカー教室等サッカーを中心としたスポーツ振興事業を実施した。	継続	子どもから大人まで男女を問わず多くの参加者があり、地域スポーツの普及となる事業が具体的に計画され実施されているため。
52-1 52-2	小学生無料招待事業(ドリームバスポート)	湘南ベルマーレ	ドリームバスポート事業	プロという質の高いスポーツに触れる機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しめるまちを推進するため、総合公園で行われるプロスポーツ(湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)の平塚開催での招待事業を実施。球団との連携を図り運営をすることが出来ている。	湘南ベルマーレ・横浜DeNAベイスターズ・横浜ビー・コルセアーズの平塚開催での招待事業を実施。球団との連携を図り運営をすることが出来ている。	各プロスポーツで観戦できる試合を増やすことができた。来場者を増やすようにする。	継続	定着して事業により継続
53	サイクルイベントの実施	事業課	令和2年度は施設貸し出しのイベント希望なし、事業課主催でのイベント実施無し。	地域住民の健康づくりを「自転車」をキーワードに様々な視点から提案や施設の貸し出しを行う。	施設の貸し出しでは、希望する団体があるかどうかは毎年不確定であり、計画への位置づけにそぐわない。主催イベントについても、様々なイベントを実施しており、毎年自転車に関するイベントを実施することは予定されていないので、計画への位置づけはそぐわない。		廃止	施設の貸し出しでは、希望する団体があるかどうかは毎年不確定であり、計画への位置づけにそぐわない。主催イベントについても、様々なイベントを実施しており、毎年自転車に関するイベントを実施することは予定されていないので、計画への位置づけはそぐわない。
54	平塚市スポーツ指導者制度の運営	スポーツ課	平塚市スポーツ指導者制度運用事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点から及びスポーツ水準の向上を図るため、スポーツ指導者登録制度を運用します。	令和5年度スポーツ指導者の登録はなかった。	平塚市スポーツ指導者は延べ6名。	継続	指導者としての登録者数の増加や、指導を希望する者が効果的に利用できるよう制度の充実に努める。なお、各公民館で行っている「人材登録制度(知恵袋バンク)」や県の生涯学習情報システム(プラネットかながわ)の活用方法などとも調整を図る。
55-1 55-2 55-3	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツ推進委員協議会	令和5年度平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	成長期のケガ予防とパフォーマンス向上に必要なコンディショニング	専門知識を学ぶよい機会となり、ジュニア世代の指導者の育成・技術向上に寄与した。	継続	受講者の多くが小中学生を指導している指導者のため、その点に留意し、講習内容・講師を十分に検討しながら継続する。
56	平塚市スポーツ協会指導者講習会	平塚市スポーツ協会	平塚市スポーツ協会指導者講習会	平塚市民の生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、指導者の養成並びに、選手の競技力向上を図る推進体制を確立する。	5年度実績 第1回「論理的な指導方法及びスポーツの動機付けについて」参加者32名 第2回「スポーツにおける身体のケア(休養)方法」参加者31名	平塚市スポーツ協会加盟指導者の知識、技術のスキルアップに寄与した。	継続	指導者にとっての指導力の向上に繋がるので、今後も継続する。
57-1	トップスポーツの試合の招致・開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	トップレベルのビーチスポーツに触れる機会を提供し、普及促進を図るため、ビーチスポーツの全国大会等を誘致します。	ビーチサッカー関東リーグ(男子・女子)やビーチバレージャパンプツアーが開催されました。	プロ選手も参加する大会を開催することができ、ビーチパークの利用価値が高まりました。	継続	相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、指定管理者と連携し、引き続きハイレベルなビーチスポーツに接する機会の提供に努めます。
57-2	トップスポーツの試合の招致・開催	総合公園課	スポーツ大会招致	質の高いスポーツ観戦の場を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しめる街を推進するため、総合公園において、プロスポーツのほかさまざまな種目のトップレベルの大会を開催します。	Tリーグ・Vリーグなどトップリーグの試合を実施	トップスポーツの開催が増え来場促進につながった。	事業拡大	各種スポーツのトップ大会の開催を行っていく。
58	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	スポーツ課	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	市民のスポーツへの興味・関心を高めるため、広く市民が観覧できる全国規模のスポーツ大会などを開催する団体を支援します。	実績なし。	なし	継続	平塚市スポーツ指導者制度の充実に成果が運動していくものなので、制度の内容を精査した上で、派遣先の募集を行う。
59-1 59-2 59-3 59-4 59-5 59-6 59-7	トップアスリートを活用したイベントの開催	平塚市スポーツ協会	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	参加9団体において国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートを招いて教室事業を実施した。	トップアスリートとの交流を図ることによりスポーツへの興味関心を高めることができた。また、スポーツへの参加意欲の喚起に寄与した。	継続	市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、スポーツへの興味関心を高めることができるため、今後も継続する。

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
60-1 60-2 60-3	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	横浜DeNAベイスターズ	市内小学校選手訪問	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツをすることの楽しさを知ってもらうため、プロスポーツで活躍する選手が市内小学校を訪問し、児童と直接触れ合いながらスポーツの魅力を伝えます。	学校訪問・試合イベントなど充実した。	児童に直接プロスポーツ選手が触れる貴重な場となっている。	継続	定着して事業により継続
61-1	トップアスリートを活用した事業の開催	福祉総務課	リトアニア共和国パラリンピック委員会からのビデオメッセージ放映	トップアスリートと直に触れ合う機会に替えて、バラスポーツの魅力や東京2020パラリンピック競技大会の機運を高めるため実施した。	東京2020パラリンピック競技大会開催終了後は、一度も実施していない。		終了	東京2020パラリンピック競技大会開催終了後は、一度も実施していないため。なお、「進捗状況」及び「成果の検証」について、どちらも4を選択しているが、理由は上記であり、コロナの影響によるものではない。
61-2	トップアスリートを活用した事業の開催	福祉総務課	ブラサカと考える共生社会 in Hiratsuka	共生社会実現に向けたイベントの中で、ブラインドサッカーチームによるデモンストレーション試合等を実施し、パラアスリートとの交流の機会を創出する。また、バラスポーツ(パラリンピック採用競技)への理解を深め、パラリンピック大会の機運醸成を図るとともに共生社会の促進につなげる。	小中学生対象のバラスポーツを題材とした、障がい者への接し方や共生社会について学ぶ授業「スポ育」の周知を、小中学校で1回行った。その結果として、2校の小中学校で実施した。また、ブラインドサッカーの啓発を含む「地域共生社会パネル展」を1回実施した。	ブラインドサッカー関連事業について、対面授業及びパネル展を行い、交流や周知ができたため、成果はあったといえる。	継続	オリンピック・パラリンピック競技大会終了後も「レガシー」として実施する各種福祉活動のため。
62	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	スポーツ施設の管理・運営	スポーツをする場を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	令和5年度体育施設利用状況 計 265,394人 (横浜町庭球場・軟式庭球場、王御住運動広場、小・中夜間照明施設、大神スポーツ広場、土沢多目的広場・土沢野球場・パークゴルフ場)	スポーツ課所管の体育施設の維持・管理・運営を行い、市民がスポーツを楽しむ場所を提供した。	継続	市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため、体育施設を効率的に維持・管理・運営を継続していく。
63-1	有料公園施設の運営・管理	みどり公園・水辺課	効率的な施設の運営・管理	スポーツを楽しんでもらう場を提供するため、湘南海岸公園内のフットサルコートの利用貸出を行います。 ※利用形態:2時間1単位 【市内】900円、【市外】1,800円	屋外専用フットサル場として、市内で市で行っている唯一の施設で、安価でフットサル愛好家に提供しています。	フットサル愛好家にフットサルをする場の提供ができました。特に土日祝の利用率が高く、毎週利用者がいます。	継続	フットサル愛好家を中心に利用者にとって親しみが持てる、また、安全で快適な利用ができる施設として運営・管理を継続していきます。
63-2	有料公園施設の運営・管理	総合公園課	効率的な施設の管理・運営	市民がスポーツを「する」「観る」場の提供のため、スポーツ施設を効率的に管理・運営します。	年間大会での関東大会・神奈川大会の開催が広がっている。	多くの大会が開催された。今後の施設整備が重要になる。	継続	定着して事業により継続
64	学校体育施設開放の個人利用の促進	スポーツ課	小・中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブに委託して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放する。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 みずほ小学校 年15回	学校行事等のイベント開催に伴い、開放が中止となる期間もあったが、市民がスポーツを楽しむ機会を提供できた。	継続	大学交流事業としてバラスポーツ体験を今後も取り入れながら継続していく。
65-1	指定管理者制度の活用	みどり公園・水辺課	ビーチセンターへの指定管理者の導入	効率的な施設の運営・管理に努めるため、ビーチスポーツ等のノウハウを持つ指定管理者を導入します。	指定管理者独自のノウハウで秋と冬にビーチフェスタを実施し、その中でフラインボ、ビーチスポーツ体験会などを行ったほか、オーシャンスイム練習会、ライフセービング講習会なども実施しました。	これまでコロナで縮小していた各種ビーチスポーツ体験会や海岸で行う練習会、講習会等の事業を積極的に実施でき、多くの来場者に好評を得ることでビーチパークの賑わいの創出につながりました。	継続	引き続き、ビーチパークの賑わいの創出に繋がる指定管理事業及び自主事業を指定管理者から積極的に提案し実施してもらうことで、民間事業者のノウハウを活かした施設の運営・管理に努めます。
65-2	指定管理者制度の活用	総合公園課	馬入ふれあい公園指定管理	コストを削減し、効率的な管理運営を行うため、馬入ふれあい公園の管理運営業務について指定管理者制度を導入します。	馬入ふれあい公園指定管理事業者が、施設の運営管理を行った。	管理運営上さまざまな事務改善がなされ、効率的な運営が実施できた。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。
65-3	指定管理者制度の活用	スポーツ課	指定管理者制度の活用	市民サービスの向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者制度を活用します。	横浜町庭球場・軟式庭球場・大神スポーツ広場及び湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場の管理・運営に努めた。	体育施設の維持、管理、運営を行い、スポーツを楽しむ環境づくりに寄与した。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。
66	公民館附属体育館の運営・管理	中央公民館	公民館附属体育館の運営・管理	市民にスポーツの場を提供するため、市内5館の附属体育館の管理・運営を行います。	合計 6,329回 延べ105,470人 内訳 花水公民館 1,780回 延べ28,686人 神田公民館 1,161回 延べ17,355人 金目公民館 971回 延べ12,856人 金田公民館 1,178回 延べ25,815人 旭南公民館 1,239回 延べ20,758人	前年度と同程度の規模で実施した。	継続	市民への周知方法を検討して継続する。
67	民間スポーツ施設等の情報・実績把握	スポーツ課	小松製作所のグラウンド・テニスコートを地域住民に開放する	小松製作所、平塚市との協定により、民間スポーツ施設の利活用を行い、地域住民へ運動の場を提供するもの。	施設の老朽化等に伴い、当面の間利用禁止となっており、利用実績はなし。	小松製作所からの申し出により今後の利用の再開はせず、協定に係る覚書の廃止に向けて関係部署の調整している。	廃止	施設の老朽化等に伴い、小松製作所との覚書を廃止するために関係部署と調整している。今後、計画への位置づけはそぐわない。

令和5年度 平塚市スポーツ推進計画事業評価シート

1. 事業の位置付け			2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
68	スポーツ用具有効活用事業	スポーツ課	各種団体にスポーツ用具の貸出を行う。	ニュースポーツを中心としたスポーツ用具を市民に貸し出すことで、スポーツを気軽に楽しんでもらい、継続してスポーツに取り組んでもらうことができる。	194件の貸出を実施した。	ポッチャ、パウンドテニス、ストラックアウトなど、約40種類のバラスポーツやニュースポーツを中心とする用具の貸出を行い、市民のスポーツ活動を側面から支えている。	継続	市民のスポーツ活動への関心が高まっており、バラスポーツやニュースポーツの体験機会をより一層提供するため。
69	スポーツに関する情報の提供	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることができるようにするため、協働事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	訪問者(アクセス)数104,461人、ページビュー数が316,982ページと前年度と比較して、増加した。	コロナウイルス感染症が5類に移行となり、スポーツ活動が活発となった。	継続	スポーツイベントや団体の活動が再開されないと根本的な解決は難しいが、関連するイベント等の掲載も含めて、継続して実施していく。
70	スポーツに関する情報の提供	平塚市まちづくり財団	スポーツタウンひらつかの発行等	スポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供を図るため、情報誌「スポーツタウンひらつか」や財団のホームページ等により、スポーツの情報を提供する。	スポーツタウンひらつかの発行：年2回発行 3,000部/回 財団ホームページによる教室案内等の情報発信	スポーツへの興味関心を高め、多くの方のスポーツ教室への参加に繋がりが、健康の保持増進に寄与していると考える。	継続	スポーツ情報の提供はスポーツに対する親しみや理解を高め、健康増進へのきっかけづくりや運動をする機会の提供に繋がるため、今後も継続する。
71	地元メディアの活用	スポーツ課	地元メディアの活用	スポーツに関する情報を広く市民に提供するため、地元メディアを活用します。	市長表敬訪問のほか、スポーツイベント等の記事掲載等がされた。	スポーツへの興味、関心を高めることに寄与した。	継続	地元メディアと連絡調整を行い、効率的な情報発信が可能となるよう、検討する。